

北野の風

岡崎市立北野小学校 令和2年度 学校通信 No.5 11月9日(月)

カレーライスと赤チン

北野小学校長 丹羽 郁人

五年生と共に「山の学習」に出かけた。飯盒炊飯、落ち葉スキー、アスレチック、オリエンテーリング、そしてキャンプファイヤー……。

自然の中で、仲間と共に生き生きと活動する五年生は、頼もしくもあった。

班で協力をして飯盒炊飯に取り組んだ。石を並べて炉を作った。薪をナタで割った。米と水を入れてといだ。ジャガイモ、にんじん、たまねぎを切って鍋に入れ、タイミングよくカレーのルーを入れた。

分担して協力して、カレーライスをみんなで作った。それは「特別」のカレーライスに違いなかった。だから、うまかった。ご飯が焦げたり、しゃびしゃびだったりした班もあったかもしれない。じゃがいもやにんじんの切り方が、いびつだった班もあったかもしれない。でも、うまかった。「失敗」は最高のソースとなり、それはきつと、高級レストランの完璧なカレーライスより、格別にうまかった。どうか、その味も、香りも、その時の友の笑顔も、覚えていてほしい。

そして、自分たちの力でやり遂げたことに胸を張ってほしい。

「転ばぬ先の杖」の意味を国語辞典で引いてみる。

「何事にも用心するに越したことが無いというたとえ」とある。

転ばないように杖があったほうがいいのか、ないほうがいいのかと問われれば、もちろんあったほうがいいであろう。しかし、子供たちに「転ばぬ先の杖」を与え続けたらどうだろう。転ばないから、転んだ時の痛みを知らずに、怪我をしないような転び方も学べず、転んだあとの起き上がり方も知らないまま大人になってしまう。

小学生のころ、私はよく転んだ。私たちの幼少期は、擦り傷の膝小僧に赤チン（「赤いヨードチンキ」の略。正式には「マキキュロクロム液」）をつけた。傷が完全に治る前にまた転ぶので、年がら年中、私の膝小僧は赤かった。だけどそうやって、転んだ痛みや、痛くない転び方や、再び立ち上がって歩き出す強さを、学んできたと思っ

今の大人たちは、「転ばぬ先の杖」を与え続けすぎているのだろうか。

私はある日、子供たちのつくった、「ご飯がちよっぴりしゃびしゃびの、「特別においしい」カレーライスを食べながら、そんなことを考えていた。



男子バレー部

仲間と得た絆

六年三組 植田舜

僕たちの目標は、優勝することでした。試合前、僕は、すごくどきどきしていました。「オーライオーライ」と声をかけあってボールをつなぎました。僕は、決めてくれ!と思いつながら、トスをあげました。チームのみんな「せいや行け!」と声をかけ、アタックが決まったときは、とてもうれしかったです。一回戦、勝つことができてほっとしました。二試合目は、自分たちのミスが続き、もうだめだ...と思いました。でも、まだ勝てる!がんばろう!と気持ち切りかえ、最後まで戦うことができました。目標としていた優勝はできず、悔いが残る試合でしたが、部活動を通して、ピンチのときも立ち上がろうとする強さや、大切な仲間との絆を得ることができたと思います。



男子バスケット

みんながヒーロー

六年三組 日恵野寿音

二試合勝ち上がり、三試合目、すごく強い相手だった。手も足も出ない。前の



ぼくたちなら、途中で諦めていたと思う。でも、その日は違った。みんながボールを取りに行き、必死に攻めた。負けてしまった試合だったけど、今までで一番、皆で頑張れた試合だった。大きな子相手に精一杯手を伸ばし、ボールを取ってくれた仲間、相手の攻撃を抑えてくれた仲間、応援してくれた仲間、皆が仲間のワンチーム。全員がヒーローだった。一緒にバスケットができて、本当に楽しかった。

女子バスケット

とどかなかった優勝

六年一組 飛坂志音

私たちの最後の球技大会は、みんな協力してプレーし、決

勝戦まで勝ち残ることができました。その中で「あきらめない」ことが大切

だど、私は強く思いました。



決勝の相手はとても強いチームでしたが、私たちは強い気持ちをもち挑みました。試合の残り数秒でも諦めずにディフェンスをがんばったので、3点差まで追いつくことができました。最後は一步届かずに負けてしまいました。ですが、全力を出し切って戦えたと思います。来年の子たちも、「あきらめない」を忘れずがんばってほしいです。

音楽部

教え合う大切さ

六年一組 柴田一花

十月にある演奏会にむけて五つの曲に取り組みました。その中で「プロムナード」という曲は、拍子が一小節ごとに変わるため苦戦しました。私は音楽部に入って分からないことがあつたらすぐに友達に聞くようにし

ています。今回も、分からないところを同じパートの友達に聞きながら、吹ける

ところを増やしていきました。周りの部員たちも、先生に聴いても

らったり、休み時間に友達と一緒に練習をしたり

しながら一生懸命取り組んでいました。演奏会当日は、今まで練習してきた成果をお客さんに発表することができました。これからは私がしてもらったように、困ったり悩んだりしている友達がいいたら優しく教えることができる人になりたいです。



表彰の記録

水泳大会北ブロック

六年五十メートル自由形

第二位 葛西麒心

六年百メートル平泳ぎ

第三位 森本ひなた

球技大会北ブロック

第二位

女子バスケットボール部

五年生山の学習

十月二十六日

みんなでがんばった山の学習

五年一組 本田彩華

山の学習では、カレーを作ったり、山の中のアスレチックや落ち葉スキーで遊んだりして、何もかもが楽しい一日でした。私が一番心に残っているのは、キャンプファイヤーの最後です。キャンプファイヤーの火が消えてから、もう終わるんだなあと少しさみしくなりました。しかし、退場するとき、道のはじっこに火がついていて、とても美しいなあと思いました。昼間の明るさとはちがう、かい中電灯ともちがう、火の光で明るく感じました。その道を歩きながら、一日をふりかえって、みんなで協力できてよかったです。



最高の思い出

五年二組 柴田莉咲

山の学習の中で一番心に残ったのはキャンプファイヤーです。当日まで、他のクラスのスタン

ツの内容を知らなかったのですが、わくわくしながら楽しむことができました。キャンプファイヤーの火が小さくなってきた頃に、火の神が五年生に思いやりの火、助け合いの火、信頼の火をおくってくれました。私の心の中に三つの火がともされました。その火をいざなぎながら、自分の道を自分らしく歩んでいきたいです。



楽しかった山学

五年三組 高山結愛

私は山の学習の全てが楽しかったです。野外炊飯のときに石をたたいていたラムカデが出てきたとか、カレーに新聞紙が入ったとか、アスレチックで思い切りころんだとか、数えきれないほどのハプニングや楽しかったことがありました。その中でも一番楽しかったのがキャンプファイヤ



です。火文字やスタンツは、本当にすごくて、とてもよかったです。もう一度山の学習にみんなで行きたいです。

後期委員会活動スタート

各委員会 委員長

企画 荒川 華凜

運動 宮崎 蒼平

ボランティア 杉浦 大斗

緑化 成瀬 朝希

放送 飛川 奈緒

図書 仲座 芹

美化 岸山 琉卯

保健 堀内 颯太

給食 鷺見 心花

学級代表

五年一組 本郷 瑠唯 山田 蒼依

五年二組 黄原 壮炫 坂下 恵麻

五年三組 友利 大樹 山本 桜生

六年一組 若松 星那 高杉 莉乃

六年二組 由良 蒼葉 荒川 華凜

六年三組 野澤 徠斗 森本 ひなた

行事予定



十日(火)修学旅行 奈良三重方面 (～十一日)

十六日(月)委員会

十七日(火)駆け足週間 (～十二月一日)

十八日(水)就学時健康診断

三十日(月)クラブ



二日(火)持久走大会(予備日三日)

七日(月)委員会

学校評議委員会

八日(火)個別懇談会(～十日)

十二日(土)資源回収

十四日(月)クラブ

十五日(火)きらきら読み聞かせ (～十七日)

十七日(木)大掃除

二十一日(月)委員会

二十二日(火)給食終了

二十三日(水)二期終業式

二十四日(木)冬休み 下校指導・守るんデー

